

Belle実験の物理と最新の結果
Recent Results from Belle Experiment

相原 博昭 氏 (東京大学大学院理学系研究科)
Prof. Hiroaki Aihara (Department of Physics, University of Tokyo)

高エネルギー加速器研究機構Bファクトリー (KEKB) でBelle実験が1999年5月にデータ収集を開始してから、ほぼ8年が経過した。これまでに、約7億のB中間子反B中間子対生成反応を記録し、それらの解析から200余の論文を発表した。このコロキウムでは、Belle実験の現状と最新の結果を含めた物理の成果をCP非対称の測定を中心にお話する。さらに、Belle実験の今後の計画について簡潔に説明したい。

Apr. 17 (Tue), 2007 13:30-
Nishina Hall, RIKEN

The Colloquium will be given in Japanese

Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer
npsoc@ribf.riken.jp
<http://ribf.riken.jp/~seminar/>